

ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に向けた ナショナルムーブメントの活発化へ

このたびは、財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター主催の「第13回蓄熱のつどい」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

当センターでは、皆さま方のご支援のもと、平成10年より冷房需要が本格化する毎年7月を「蓄熱月間」と提唱し、各省庁、団体よりご後援・ご協賛をいただき、「ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に向けたナショナルムーブメントの活発化」を目的に様々な活動を展開してまいりました。

ヒートポンプ・蓄熱システムは、日本が世界をリードする最先端の環境・省エネルギー技術であり、投入エネルギーの数倍の熱エネルギーを得ることが出来る効率よいシステムです。近年では、高温化・大容量化、高効率化などの技術革新により、業務用の給湯への普及、工場などの産業用分野への適用範囲の拡大、寒冷地における給湯・暖房能力向上など用途・エリアの利用範囲の拡大が進んでおります。

閣議決定された「新成長戦略」においても、グリーンイノベーションの施策の一つとしてヒートポンプの普及拡大が盛り込まれるなど、2020年までに1990年比で25%のCO₂削減の目標達成、低炭素社会実現への切り札として、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及拡大への期待が環境・経済両面でも高まってきております。国際的にも、IEA「エネルギー技術展望(ETP)」にCO₂削減に有効な主要技術の一つとしてヒートポンプが取り上げられています。

本日は、「ヒートポンプ・蓄熱システム」のなお一層の普及を目指して、改めて官界、学界、産業界、関連団体の指導的立場におられる皆さま方とともに「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及拡大の重要性について共通認識を深めてまいりたいと考えております。

今後とも、当センターへのご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター
理事長

小宮山 宏

